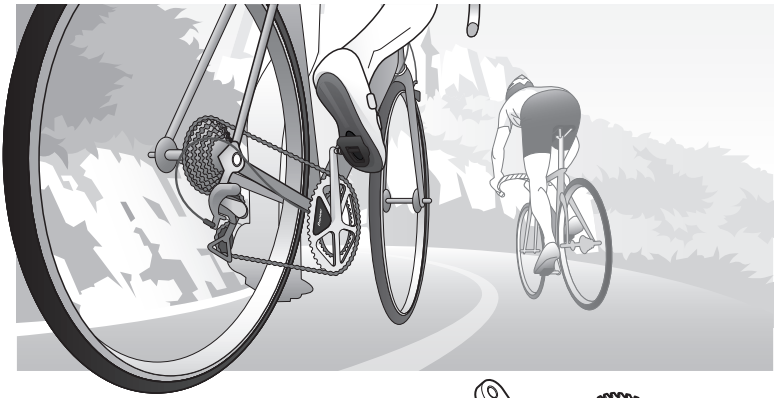
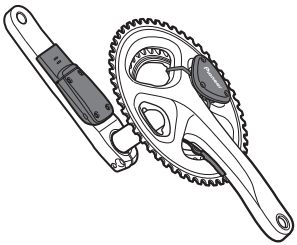
Pioneer

Pedaling Monitor Sensor　ペダリングモニターセンサー

SGY-PM900H90　取扱説明書





このたびは、ペダリングモニターセンサー SGY-PM900H90 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ペダリングモニターセンサーをご使用になる前に、必ず本冊子をお読みください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

目次

はじめに

特長 3
　説明書の構成 3
対応部品....4
安全にお使いいただくためのご注意 ..5
使用上のご注意 9
　電波に関するご注意....9
　その他の注意 10
防水性能について 11

準備

製品構成....12
　付属品....12
電池の取り付け／取り外し／
モード切り替え 14

接続・校正

サイクルコンピューターとの接続 ...17
センサーの校正 19
　準備....19
　ゼロ点の校正 19
　ゼロ点の確認 20

仕様・サポート

困ったときは 21
保証とアフターサービス....23
仕様 24
お手入れについて 25
　お手入れと保管について 25

本製品は ANT+™ に認定されています。
互換性のある製品やアプリケーションについては、http://www.thisisant.com/directory/ をご覧ください。

特長

本製品は、自転車のペダリングをリアルタイム解析するためのセンサーシステムです。ペダルにかかる力の大きさ、方向、ペダリング効率を計測します。

商品構成

- ひずみゲージユニット：クランクのひずみを検出し、クランクにかかる力の大きさや方向を測定します。
- マグネットリング　：回転角度を検出するために使用します。
- 送信機　：ひずみゲージユニットとマグネットリングで検出された情報をサイクルコンピューターに送信します。

モード切り替え

左右の送信機内部のスイッチによって、次のモードを切り替えることができます。

- Pedaling モード：サイクルコンピューター SGX-CA900 と組み合わせて使用すると、ペダリング効率などが計測できます。本製品の機能を最大限活用できます。
- パワーメーターモード：ANT+™ に対応したサイクルコンピューターと組み合わせる場合は、こちらのモードでご使用ください。

説明書の構成

本製品の説明書は、本書「取扱説明書」と「取付・取扱説明書（WEB 編）」で構成されています。

- 取扱説明書：
  本製品とサイクルコンピューターとの接続、およびセンサーの校正方法について説明しています。
- 取付・取扱説明書（WEB 編）：
  http://pioneer.jp/support/manual/cycle/sgy-pm900h90/
  より詳細な取り扱い方法を説明しています。また、参考資料として本製品の取り付け方法（販売店様向け）を記載しています。

対応部品

クランクセット

本製品は、次のクランクセットに対応しています。

クランクセット	備考
SHIMANO FC-9000	• 165 / 167.5 / 170 / 172.5 / 175 mm のクランク長、50-34T / 52-36T / 52-38T / 53-39T のクランクセットに対応。※

※ 本書では、クランク長 170 mm のクランクセットを例に説明しています。

ボトムブラケット（BB）

本製品は、次の BB に対応しています。

BB	製品名称	備考
HOLLOWTECH II、JIS68	SHIMANO SM-BB7900 SM-BB6700 SM-BB9000	マグネットリングアタッチメントを使用。

下記の BB をお使いの場合は、取り付けに専用オプションパーツ（別売）が必要です。

BB	製品名称	備考
BB86	Pioneer SGY-BB86 SGY-BB86C	オプションパーツ（別売）、マグネットリングを直接取り付け。
BB30	Pioneer SGY-BB30 SGY-BB30C	
PF30	Pioneer SGY-BBPF30 SGY-BBPF30C	

本製品の取り付けおよび校正は専門技術、専用工具を必要とします。取り付けおよび校正を行う際は、必ず本製品の取扱店舗にご依頼ください。

安全にお使いいただくためのご注意

絵表示について

本書中では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性があり、その切迫の度合いが高い内容」を示しています。
⚠警告	この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示の欄は、「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

強制	このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。
禁止	このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。

⚠危険

禁止	本製品の取り付け、接続および校正は、専門技術、専用工具を必要とします。取り付け、接続および校正を行う際は、必ず本製品の取扱店舗にご依頼ください。 ご自身での取り付けは、絶対におやめください。事故やけがの原因になります。

取り付け時・メンテナンス時のご注意 販売店様向け

⚠警告

強制	本機の取り付けには、専門の知識が必要になります。Pioneer が開催する取り付け講習を受けた方が作業を行ってください。確実な取り付けを行わないと事故やけがの原因になります。
	本機の取り付け、接続および校正は、自転車を確実に固定して行ってください。固定されていないと自転車の転倒などにより事故やけがの原因になります。
	ひずみゲージユニットをクランクに接着剤で貼り付けるときには、換気と火気に充分に注意し保護めがね、手袋をして作業してください。目やのどに刺激を感じたり気分が悪くなったら、すぐに新鮮な空気の場所に移動し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
	本機を取り付ける時にチェーンリングやひずみゲージユニットの圧着工具などでけがをしないように注意して作業をしてください。
	本機をクランクに取り付ける結束バンドに緩みがないように確実に固定してください。緩みがあると走行時のフレームなどとの接触により事故やけがの原因になります。
	校正用の重りは、ペダル軸に確実に取り付けてください。重りの落下等により事故やけがの原因となることがあります。
	マグネットリングをアタッチメントへ取り付けるときには、確実に固定してください。走行時の落下などにより事故やけがの原因になります。
	マグネットリングアタッチメントを BB に取り付けるときには、BB をウエスで拭き取るなど清掃し、指定のトルクで BB に確実に固定してください。 指定のトルク以外で取り付けると破損、落下などにより事故やけがの原因になります。

強制	本機の取り付けが終わったあとに、ネジ、結束バンドの緩み、フレームなどとの接触がないことを確認してください。 また、本機の取り付けには、専用の工具、重りなどが必要になります。 専用の工具、重り以外を使用しますと、作業時の重りの落下、走行時の本機の脱落などにより事故やけがの原因になります。
	付属品の部品で正しく取り付けてください。他の部品を使うと、しっかり固定できずに事故やけがの原因になります。

使用時のご注意

⚠警告

強制	モード切り替え、電池交換は、安全な場所で自転車を固定して行ってください。 自転車が転倒してけがの原因となります。
	モード切り替え、電池交換後に送信機カバーは、ネジを指定トルクで確実に取り付けてください。 確実に取り付けられていないと、落下して交通事故やけがの原因になります。
	ネジ、ボタン電池などの小物部品は、乳児の手の届くところに置かないでください。誤って、飲み込む恐れがあります。 万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
	走行前に、本機が自転車操作の妨げにならない位置に、確実に固定されていることを確認してください。特に、各部品をクランクに取り付けた結束バンドの緩み、各部のネジの緩みなどがないか確認してください。確実に固定されていないと、本機の落下やフレームと干渉したりして、事故やけがの原因となります。 緩みなど異常があった場合は、販売店 にご相談ください。
	レースでの走行および石畳などの悪路を走行の場合に破損する恐れがあります。

禁止	直射日光の強いところや炎天下、高温、高湿、低温、ほこりの多い場所に放置しないでください。故障する場合があります。
	絶対に本体および付属品を分解・改造・修理をしないでください。感電や故障の原因となります。
	異物が入ったり、水没したり、煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のままで使用しないでください。発火の恐れがあるため、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。
	本機は ANT 無線通信をしています。病院内や航空機内など、通信機器などの使用が禁止されている場所に持ち込まないでください。電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

⚠注意

禁止	本機を水に入れたり、ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品・洗剤・化学ぞうきんなどで本機を拭かないでください。故障の原因となります。
	自転車用の潤滑剤、汚れ落し剤などが本機に付着したら、速やかに拭き取ってください。そのままにしておくと故障の原因になります。
	本機に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

異常発生時のお問い合わせ

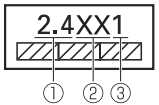
⚠警告

強制	万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店か修理受付窓口に相談してください。事故の原因になります。お客様による修理は、絶対におやめください。

使用上のご注意

電波に関するご注意

- 本機に搭載されている特定無線設備は、電波法に基づくデータ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律により罰せられることがあります。
  * 分解 / 改造すること。
  * 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉が起こることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響をおよぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
  * 無線 LAN を利用した AV 機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、音がとぎれたり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
  * 火災報知機・ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
  * 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
  * マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
  * 自動ドア・万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
  * 自動制御機器・その他、Bluetooth® 対応機器や VICS（道路交通網システム）
  * アマチュア無線局など



①「2.4」GHz 帯を使用する無線設備を表します。
②「XX」変調方式を表します。
③「1」想定される与干渉距離（約 10 m）を表します。

本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社ご相談窓口にお問い合わせください。

● 本機は電波法に基づく設計認証を取得しています。

R001-A00894

R001-A00895

その他の注意

● 本機は、電源がオフの状態でも待機電流を消費しています。

● 本機は炎天下などの高温になる場所に保管しないでください。

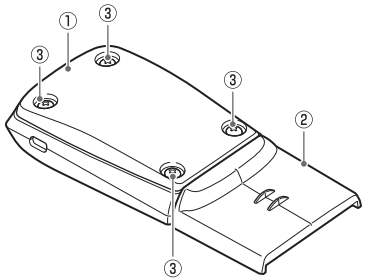
- 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負うことができません。
- 本書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負うことができません。
- 本機の仕様および外観は、実際と異なったり、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

防水性能について

本製品はすべてのカバーを完全に閉じた状態で、JIS 規格に定められた「水の浸入に対する保護等級」IPX6[※1] 相当の防水性能を有しています。
ご使用になる条件によっては、内部に水が浸入し、火災や感電、故障の原因となる恐れがあります。以下の点をご理解のうえ、本製品をご使用ください。

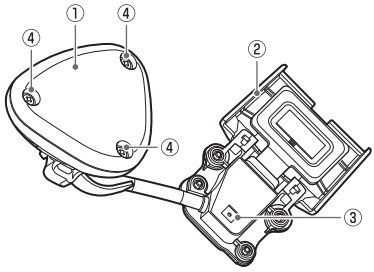
※ 1 IPX6（強い噴流水に対する保護）
内径 12.5 mm のノズルを用いて、約 3 m の距離から約 100 リットル / 分の水を 3 分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる強い噴流水によっても、本製品の性能を保ちます。

ペダリングモニターセンサー（左）



① **送信機カバー**
② **ひずみゲージユニット**
③ **ネジ**

ペダリングモニターセンサー（右）



① **送信機カバー**
② **ひずみゲージユニット**
③ **中継ボックス**
④ **ネジ**

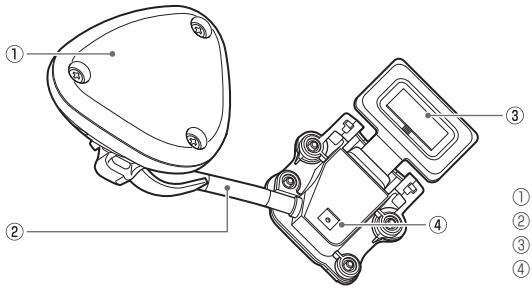
- モード切り替え、電池交換後に送信機カバーを確実にネジで取り付けてください。確実に取り付けられていないと内部に水が浸入し、火災や感電、故障の原因となる恐れがあります。
- 長時間の雨や強い雨の中では使用しないでください。
- 誤った取り扱いが原因の浸水による故障は、保証対象外となりますのでご了承ください。
- センサーの送信機内部のゴムパッキンは定期的に交換することをお勧めします。（有償）

製品構成

付属品

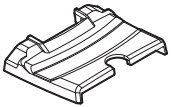
本製品は、以下のパーツで構成されています。

ペダリングモニターセンサー（右）

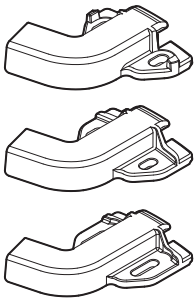


① 右送信機
② 中継ケーブル
③ ひずみゲージユニット
④ 中継ボックス

ペダリングモニターセンサー本体（右）× 1



ひずみゲージユニットカバー（右）× 1



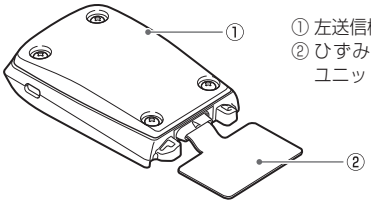
34T 用

36T 用

38, 39T 用

中継ケーブルガイド× 3

ペダリングモニターセンサー（左）

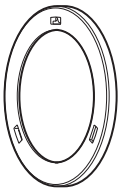


① 左送信機
② ひずみゲージユニット

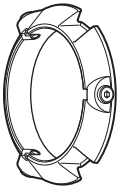
ペダリングモニターセンサー本体（左）× 1

ひずみゲージユニットカバー（左）× 1

マグネットリング



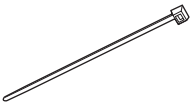
マグネットリング× 2



HOLLOWTECH Ⅱ用
マグネットリングアタッチメント× 2

付属品

電池（CR2032）× 2



結束バンド× 20

プラスネジ× 10

取扱説明書（本書）

保証書

電池の取り付け／取り外し／モード切り替え

本製品を使用する前に、電池を取り付けます。
電池を取り付けるときに、センサーのモードを切り替えることもできます。

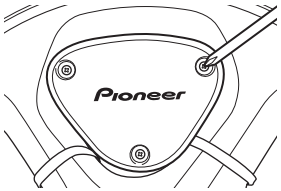
- 本製品は、他社のサイクルコンピューターと組み合わせて ANT +パワーメーターとして使用できます（以下、パワーメーターモードと呼びます）。
  パワーメーターモードで使用する場合は、右、左の順に電池を入れてください。

1 送信機カバーのネジを緩め、カバーを取り外す

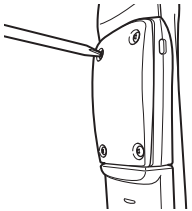
ドライバー（プラス）を使ってネジを緩め、カバーを取り外します。

- 取り外したネジをなくさないようご注意ください。

- 右送信機（ネジ：3つ）

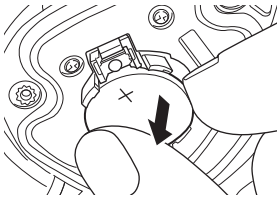


- 左送信機（ネジ：4つ）

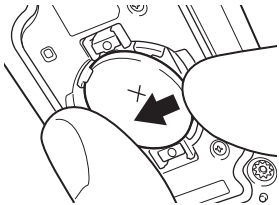


2 古い電池を取り外す

・ 右送信機



・ 左送信機

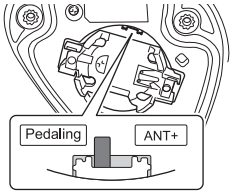


- はじめて本機に電池を取り付ける場合は、新品の電池を取り付ける前に電池挿入部のスイッチを見てセンサーのモードが利用するモードとなっていることを確認してください。
- 送信機のカバー内にはデバイス番号が記載されています。デバイス番号は、センサーをサイクルコンピューターに接続するときに使用します。詳しくは取付・取扱説明書（WEB 編）をご覧ください。

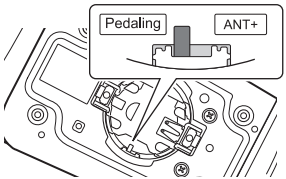
3 モードを切り替える

電池挿入部にあるスライドスイッチで、センサーのモードを切り替えます。

・ 右送信機



・ 左送信機

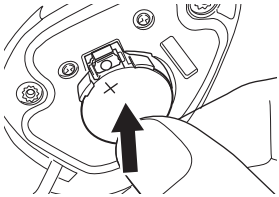


Pedaling：Pedaling モード
ANT+：パワーメーターモード

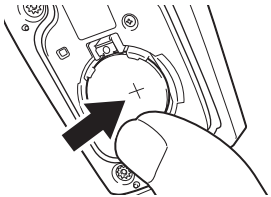
- 左右のセンサーのモードは同じにしてください。
- サイクルコンピューターSGX-CA900と接続する場合は「Pedaling」を、市販のサイクルコンピューターと接続する場合は「ANT+」を選択してください。

4 新品の電池(CR2032)を取り付ける

・ 右送信機



・ 左送信機



- CR2032 以外の電池は使用しないでください。故障の原因となることがあります。

5 LED 表示を確認する

LED が以下のように点灯し、正しく動作していることを確認します。

・ パワーメーターモード：
電池を取り付けると左右のペアリングを開始します。左右のペアリングが完了すると、左右送信機の LED が 10 秒間緑色に点灯します。

・ Pedaling モード：
電池を取り付けると LED が 10 秒間緑色に点灯します。

- LED が点灯しない場合、または片方しか点灯しない場合は、電池を入れなおしてください。それでも点灯しない場合は、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示に従って処理してください。
- パワーメーターモードで使用する場合は、右側の電池を取り付けたあと、5分以内に左側の電池を取り付けて左右のペアリングを完了してください。

6 カバーを取り付け、ネジを締め付けて固定する

ネジを締め付けるときは、トルク測定工具を使用してください。

・ 締め付けトルク：18 cN·m

- 左送信機のカバーのネジは、対角線の順番に締め付けます。

サイクルコンピューターとの接続

自転車に取り付けたペダリングモニターセンサーをサイクルコンピューター SGX-CA900 に接続します。

● **本製品を他社のサイクルコンピューターと使用する場合は、接続の方法が異なります。お使いのサイクルコンピューターの取扱説明書をご覧ください。**

1 センサーのモードを確認する

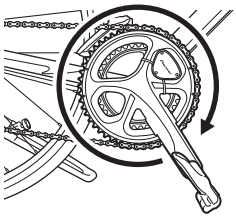
右送信機および左送信機が「Pedaling モード」になっていることを確認します。

- モードの切り替えについては、15 ページをご覧ください。

2 SGX-CA900 のホーム画面で［センサー］のアイコンをタップする

センサーリスト画面が表示されます。

3 自転車のクランクセットを 1 回転して、送信機を起動する



- 送信機を起動してから 5 分以内にサイクルコンピューターとの接続を行ってください。

4 SGX-CA900 のセンサーリスト画面で［新規接続］をタップする

センサー接続メニューが表示されます。

5 ［デバイスタイプ］－［ペダリングモニター R］の順にタップする

- 左送信機の場合は［ペダリングモニター L］をタップします。
- 複数のセンサーが起動している場合は、接続したいセンサーに本機を近づけるか、デバイス番号を指定して接続を行ってください。
  デバイス番号を指定して接続する方法については、サイクルコンピューター SGX-CA900 の「ユーザーズガイド（WEB 編）」をご覧ください。

6 ［検索］をタップする

センサーの検索がはじまります。
［検索中　しばらくお待ちください］というメッセージが表示されます。

7 センサーの情報を確認する

センサーが見つかると、センサーの情報が表示されます。
次の項目を確認します。

- ［デバイス番号］
  デバイス番号が送信機のデバイス番号と同じであることを確認します。
- ［エラー率］
  「OK」と表示されていることを確認します。

- 送信機のデバイス番号については、取付・取扱説明書（WEB 編）をご覧ください。
- ［デバイス番号］に表示された番号が送信機のデバイス番号と異なる場合は、デバイス番号を指定して接続を行ってください。デバイス番号を指定して接続する方法については、サイクルコンピューター SGX-CA900 の「ユーザーズガイド（WEB 編）」をご覧ください。

- ［エラー率］に「NG」と表示されている場合は、通信状態が悪化しているため、センサー情報が正しく受信されていません。接続するセンサーが起動していることを確認してから、センサーに SGX-CA900 を近づけ、再度接続操作を行ってください。
- 2.4GHz 帯電波の影響で接続できない場合があります。センサーに SGX-CA900 を近づけて接続をしても「NG」が表示される場合は、Wi-Fi などの無線 LAN 機器、電子レンジなどから十分離れたところで再度接続操作を行ってください。

以上で右送信機の接続は終了です。
続けて左送信機の接続を行ってください。

センサーの校正

サイクルコンピューター SGX-CA900 を使って、自転車に取り付けたペダリングモニターセンサーのゼロ点校正を行います。

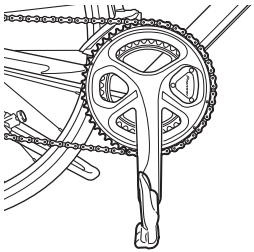
- ここでは右側のペダリングモニターセンサーを例に説明します。左側の校正方法は右側と同様です。
- パワーメーターモードの校正方法は、お使いのサイクルコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

準備

1 自転車を安全な平地に停車させる

ゼロ点の校正

1 クランクアームを地面に対して垂直になる位置で止める



2 SGX-CA900 のホーム画面で［センサー］のアイコンをタップする

センサーリスト画面が表示されます。

3 ［ペダリングモニター R］－［校正（ゼロ点）］の順にタップする

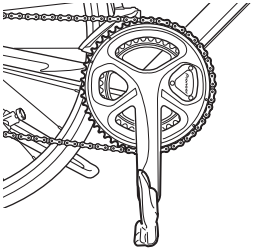
4 ［校正スタート］をタップする

校正がはじまります。
校正に成功すると、［結果］欄に「成功」と表示されます。
「失敗」と表示された場合は、クランクが動くなど安定しない状態で校正が行われた可能性があります。クランクを静止させた状態で再度校正を行ってください。

- 本製品には、気温によるゼロ点のずれを補正する機能があります。この補正機能は、異なる気温で校正を行うと学習して精度がよくなります。外気温に十分なじんでいない状態で校正および確認を行なうと、正確に測定できません。

ゼロ点の確認

1 クランクアームを地面に対して垂直になる位置で止める



2 SGX-CA900 のセンサーリスト画面で［ペダリングモニター R］をタップする

3［フォースプレビュー］の値を確認する

［接線方向フォース］と［法線方向フォース］が次の値であることを確認します。

- 接線方向フォース：0 ± 3N
- 法線方向フォース：0 ± 3N

フォースプレビュー
接線方向フォース 0 N
法線方向フォース 0 N

以上で右側の校正は終了です。同様に左側の校正を行ってください。

困ったときは

本製品の取り付け・取り扱いで困ったら、以下の内容をチェックしてください。知りたい項目がない場合は、取付・取扱説明書（WEB 編）をご覧ください。さらに詳細な項目を掲載しています。

■ Pedaling モードおよびパワーメーターモードでサイクルコンピューターとの接続ができない

原因	処置
電池が消耗している。	電池を入れたときに LED が点灯しない場合は、電池の残量が少なくなっています。新しい電池に交換してください。
電池の（＋）と（－）の向きを逆に入れている。	正しい向きで電池を入れてなおしてください（16 ページ）。
ペダリングモニターセンサーのモードが間違っている。	モードを変更して接続してください（15 ページ）。
近くに他の 2.4GHz 無線機器や電子レンジがある。	他の無線機器や電子レンジと離し、センサーとサイクルコンピューターを近づけて接続してください。
近くにある他のセンサーとサイクルコンピューターが接続している。	他のセンサーと 10 m 以上離すか、デバイス番号を指定して接続してください。詳しくは、取付・取扱説明書（WEB 編）をご覧ください。

■ パワーメーターモードでサイクルコンピューターとの接続ができない

原因	処置
左右のセンサー間のペアリングが失敗している。	センサーのモードがパワーメーターモードになっていることを確認してから、電池を右、左の順番に 5 分以内に入れて左右のセンサーの LED が緑色に点灯することを確認してください。LED 点灯後、5 分以内にサイクルコンピューターと接続してください。
右送信機のデバイス番号を指定している。	パワーメーターモードでデバイス番号を指定してセンサーを検索する場合は、左送信機のデバイス番号を指定してください。

■ ゼロ点の校正が失敗する

原因	処置
クランクに外力がかかったり、動いたりしている。	静止した状態で校正してください（19 ページ）。

■ 走行中、サイクルコンピューターのパワー表示がずれている

原因	処置
ゼロ点校正がずれている。	ゼロ点校正をしてください（19 ページ）。

■ 走行時にカタカタ音がする。

原因	処置
センサーを取り付けている結束バンドやネジがゆるんでいる。	結束バンドやネジを締めなおしてください。

■ 走行時にマグネットリングから擦れ音が出る。

原因	処置
マグネットリングに異物が付着して送信機や中継ボックスと擦れている。	送信機、中継ボックス、マグネットリングを清掃してください。

保証とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。
保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店へご依頼ください。販売店へご依頼が難しい場合は、修理受付窓口にてご相談ください。

保証期間後の修理について

お買い上げの販売店へご依頼ください。販売店へご依頼が難しい場合は、修理受付窓口にてご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

自転車からの取り外しについて

本製品の取り付け、取り外しおよび校正は専門技術、専用工具を必要とします。お買い上げの販売店にご相談いただきますようお願いいたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低６年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談は弊社ご相談窓口またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

質量： 73 g

外形寸法： 右パーツ：
- 右送信機：
  60.7 mm(W) × 46.9 mm(H) × 21.6 mm(D)
- 中継ボックス、ひずみゲージユニットカバー：
  63.3 mm(W) × 47.2 mm(H) × 9.9 mm(D)

左パーツ：
99.4 mm(W) × 48.2 mm(H) × 14.6 mm(D)
マグネットリング：
ϕ 57.0 mm × 3.5 mm

防水対応： IPX6 相当

センサー通信方式： ANT+　無線

電池： CR2032

使用可能時間： 約 200 時間（常温）

動作保証温度範囲： -10 ～ 50℃

付属品： マグネットリング、HOLLOWTECH II 用マグネットリングアタッチメント、電池（CR2032）、結束バンド、プラスネジ、取扱説明書、保証書

- 使用可能時間は、使用状況によって短くなる場合があります。
- ANT+ とは 2.4 GHz 帯を用いた低消費電力の無線通信規格です。
  詳しくは、http://www.thisisant.com/ をご覧ください。
- 仕様および外観は予告なく変更することがあります。
- この説明書中のイラストと実物が、一部異なることがあります。
- 本製品は、日本国内専用です。

お手入れについて

お手入れと保管について

- 左右の送信機、ひずみゲージユニットカバー、マグネットリングなどの付属品の汚れを拭き取るときは、乾いた柔らかい布、または水をつけて硬く絞った布で軽く拭いてください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。変質したり、塗装がはがれたりすることがあります。
- 本製品を長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。

切り取ってご使用ください

電波に関するご注意

● 本機の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、アマチュア無線局（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または本機の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

3 その他、お困りのことが起きたときは、弊社ご相談窓口へお問い合わせください。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>
「0120」で始まる フリーコール および フリーコールは、携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『**困ったときは**』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、①型名、②ご購入日、③故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口

受付時間　月曜～金曜　9：30～18：00
土曜　9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：**0120-5-81028**（ゴーバイオニア）（沖縄県以外の方）　【一般電話】**044-572-8100**（沖縄県の方はこちらへお問い合わせください。）

FAX：**0120-5-81029**

インターネットホームページ　*http://pioneer.jp/support/repair/*
※インターネットによる修理のお申し込みを受付けております

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜　9：30～18：00
土曜　9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：**0120-5-81095**　【一般電話】**044-572-8107**

FAX：**0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.045

ご相談窓口のご案内

本製品の取り付けおよび校正は専門技術、専用工具を必要とします。修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口について

インターネットホームページ　*http://pioneer.jp/support/contact/*
※商品についてよくあるお問い合わせなど

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.045

パイオニア株式会社
〒212-0031
神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

© パイオニア株式会社
<Z-912-021-01>